

石狩市立緑苑台小学校

指定年度：H30～
児童数：350名

1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

○ メンター研修の推進による中堅・若手教員の計画的な育成及び全教職員による課題の明確化や改善策の決定に課題があったことから、以下の取組を重点的に進めた。

① 状況の変化に対応した学校マネジメントの推進

ア 感染症拡大防止と学びの保障

- ・教育課程の再編成と学びの保障に向けた取組
第4学年以上において週1コマの増加、土曜授業の実施、長期休業中の登校日の設定、家庭学習や補充的な学習の工夫
- ・感染症予防を踏まえた環境整備、「新しい生活様式」に則した指導の徹底
- ・学校行事の変更～ねらいの明確化と状況に応じた内容の変更、実施方法の工夫



【学びの保障】

イ 学力向上のための検証改善サイクルの実質化・迅速化

- ・各種調査やアンケートにおける結果分析と改善策の焦点化と共有
4・5月～前年度末のCRTの結果を活用した学年団での具体的な対策内容の検討
7月～全国学力・学習状況調査問題の実施
9月～全国学力・学習状況調査問題の分析結果と対策の共有
10月～CRT対策の中間評価、更なる改善策の共有
- 2・3月～CRT実施・分析、年間を通した学力向上策の振り返り
通年～単元末テストやプレテスト等、SP表、チャレンジテスト等の活用
年4回～家庭学習強化週間の設定、生活リズムチェックシートや学習振り返りシート等の活用

・分析結果を生かした授業改善

未定着の学習内容の繰り返し指導、少人数指導体制の短期スパンの検証・改善、校内研究を中心とした授業改善の推進



【人材育成】

② 新たなミドルリーダーの育成を主眼に置いた人材育成と学校経営

ア 業務分担の大幅見直しによる組織の再編成と体制の確立

- ・OJTを意識した配置、主幹教諭の業務及び分掌の統合等の全体的な見直し

イ 分掌の機能向上とプロジェクトチーム・研修等による職員の経営参画意識の向上

- ・各部の取組の明確化、感染症対策による変更案の立案及び検討
- ・GIGAスクール構想の実現に向けて、校内プロジェクトチームの発足による具体的な取組の推進及び職員研修の実施

③ 課題を明確にした実効性のある働き方改革の推進

ア プロジェクトチームの機能を生かしたボトムアップによる改革の推進

- ・校務支援システムの有効活用、教科担任制による授業の実施、スクールサポートスタッフの活用、教材等の共有システムづくり、学級便りの発行数の見直し、家庭学習の工夫

2 取組の成果と課題（□：成果 ■：課題）

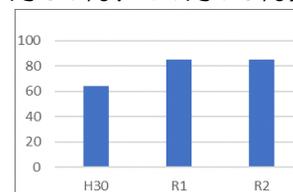
□感染症拡大の状況の中で、児童の安全と学力向上を最優先とした学校経営を教職員及び保護者の共通理解の下、推進することができた。

【肯定的評価：学校マネジメント（教師）肯定評価94%、安全対策（保護者）98%、家庭学習取組・提出（児童）92%、家庭学習目標時間達成率（児童）8月61%、11月76%】

□年間を通して、リーダー育成を中心に据えた学校経営を進めることで、教職員の協働の意識や経営参画意識が向上した。

【肯定的評価：業務推進（教師）100%】

■働き方改革については、前年度と比べ、教職員の意識は向上しているが、業務改善が十分ではないことから、今後、取組の焦点化を図る必要がある。【肯定的評価：働き方改革（教師）85%】



【働き方改革（肯定的評価）】